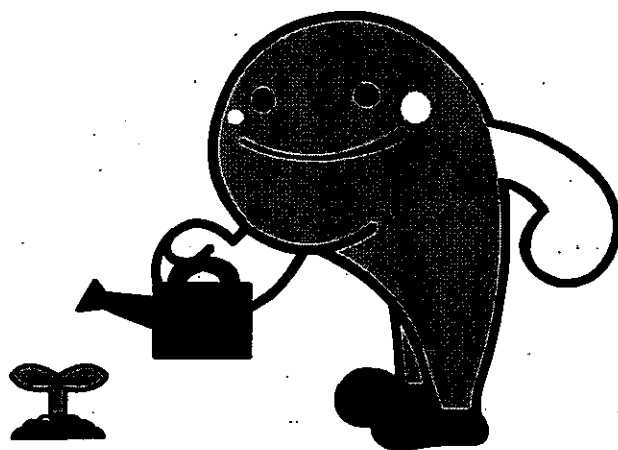


変わろう・変えよう・産業と暮らし

高知県産業振興計画

～ みんなが主役 高知の元気発進プロジェクト ～

22 年度物部川地域アクションプラン
(案)



22
平成 21 年 3 月

高 知 県

2 物部川地域

(1) 地域の産業を取り巻く状況

物部川の流域に位置する当地域は、上流域は豊かな森林資源を活かした林業やユズ栽培、肥沃な下流域は県内でも有数の園芸地帯として栄えてきました。

その下流域に位置する旧野市町（香南市）など、高知市近郊に位置し開発が進む地域では、2030年の推計人口でも減少率は比較的緩やかですが、上流域の旧物部村地域（香美市）では、人口が半数近くまで減少することが予想されています。

農業では、水稲、ニラ、ネギ、シシトウ、ショウガ、ユズ、ミカンなどさまざまな作物が栽培されており、なかでもニラ、シシトウ、ショウガ、ユズは全国規模の産地として知られています。しかしながら、価格の低迷や後継者不足に加え、最近の経済情勢による生産コストの急激な上昇により、農業所得のさらなる低下や離農などが危惧されています。

他県より10年ほど植栽時期が早い本県の中でも、物部川の上流域は特に早くから造林が進み、成熟期を迎えた森林が多く存在します。木材は国際的な需給の状況や、地球温暖化の防止などに対する森林への関心の高さから国産材が見直されてきており、时期的優位性を最大限に活かしてこれらを有利に販売していくためには、今以上の素材生産を行う必要があります。このための仕組みづくりが急がれます。

漁獲の減少に加え、魚価の低迷や急激な燃料の高騰により大変厳しい状況に置かれている水産業では、現状を打開するために、産地市場での魚価向上対策や、鮮魚出荷中心であったためにこれまであまり重点的に取り組んでこなかった加工分野などへの、新たな展開が求められます。

工業では、空港や高速道路といった交通インフラが最も整備されている地域に工業団地が整備されるなど産業基盤が充実しており、ものづくり製造業や半導体等の先端産業、情報産業の工業集積が県内でも非常に高く、3市の製造品出荷額等は県全体の4割を占めるなど、本県の工業をリードする重要な地域となっています。

一方で、土佐打刃物やフラフ製造といった本県を代表する伝統産業も地域に息づいていますが、社会情勢の変化に伴う需要の減少や、後継者の不足といった課題を抱えています。

また、小規模事業者が多い商業では、隣接する高知市の大型量販店などに消費者が流出し、商店街は空き店舗が目につくようになってきています。

観光分野においては、山・川・海といった自然や、歴史・文化・スポーツなどの観光資源に恵まれているものの、これらを有機的に結び付け「物語」としてのメッセージを観光客に十分伝えきれていない状況です。このため、地域内にある空港や高速道路インターチェンジを利用して訪れる観光客に、地域の魅力を効果的に伝えていくための仕組みや組織が必要とされています。

(2) 目指すべき姿（産業振興の方向性）

当地域を構成する3市が物部川という一つの流域に位置する利点を最大限に活かすため、上流域から下流域まで連携を緊密にして、多様性のある産業の振興を図っていきます。

農業では、当地域の強みであるニラ、ネギ、シントウなどの園芸作物を中心に、農業収入の増加や高品質化、有利販売への取組など、園芸産地として品目ごとにまとまりの再構築を図るとともに、消費側から信頼される産地を目指して、生産から流通・販売までを見通した対策を進めます。

また、高齢化の進んでいる中山間地域では、高齢農家とともに支える農業の仕組みづくりと集落の活性化にも取り組めます。

林業においては、「森の工場」づくりを推進し、事業者や担い手の育成を図ることで、素材の増産に取り組むとともに、加工においても消費者ニーズに対応した品質の向上や流通コストの低減に努め、林業・木材産業の再生に取り組めます。また、労働力の不足を解消するため、公共事業等の減少により異業種への転換が求められている建設業などからも参入しやすい環境を整えます。

さらに、素材生産時に発生する木質バイオマスの有効活用について、検討を進めていきます。

水産業では、この地域の基幹的な魚種の一つであるシイラについて、漁協自らが入札に参加して浜値の向上を図るとともに、民間企業との連携による加工事業にも取り組み、漁業者の所得向上を図っていきます。

工業では、高知工科大学や高知高専などの高等教育機関や公設試験研究機関、産業振興センターなどの産業支援機関と連携して既存工業の高度化を進めるとともに、産業人材の安定的な供給に向けた取組を進めていきます。また、不足する工業団地の開発を計画的に実施し、更なる産業集積を推進していきます。

伝統産業である土佐打刃物やフラフについては、海外での展開も視野に入れた新商品の開発や販路の開拓、こうした取組を通じてのブランド力の確立などのチャレンジを進めていくとともに、昔ながらの技術や文化の継承を図るため、次世代を担う後継者の育成にも取り組んでいきます。

また、農商工各分野の事業者が連携して、潜在力のある地域資源を活用した特色のある商品化を推進し、観光の取組と一体となって人を呼び込む賑わいの仕組みづくりを構築して、地域商業の活性化を図っていきます。

観光面においては、交通の要衝という地の利、のいち動物公園やアンパンマンミュージアム、龍河洞など県内で有数の集客力を誇る施設、県下で最も早くから開けた地域としての歴史と文化、取組が進みつつある体験観光メニューなどを有機的に組み合わせたツアールートを商品化していきます。

また、より広域的な視点から、高知市を含む広域行政組合の枠組みの活用や、隣接する安芸広域圏とも連携を図ります。

(3) 重点的に取り組む施策

- 産地のまとまりを基調とした生産から販売までを見通した取組
(園芸主幹品目の生産性及び品質の向上、販売促進対策)
- 玉出し日本一の産地機能の維持・強化
(ユズを中心とした中山間地域の農業の振興)
- 地産地消・食育の推進
(地産地消・食育の推進、生産者と消費者をつなぐ場づくり)
- 豊富な地域資源を活用した1.5次産業化の推進
(農産物加工等への取組、シイラの加工商材活用など)
- 地域に育つ県産材の有効活用
(民有林における間伐の推進、木質バイオマスの活用に向けての取組など)
- 歴史と伝統ある地場産業の振興
(地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興)
- 広域連携を視野に入れた観光ネットワークづくり
(体験観光型メニューの滞在型旅行商品化、観光交流の受け皿づくりなど)

(4) 主要な指標及び目標

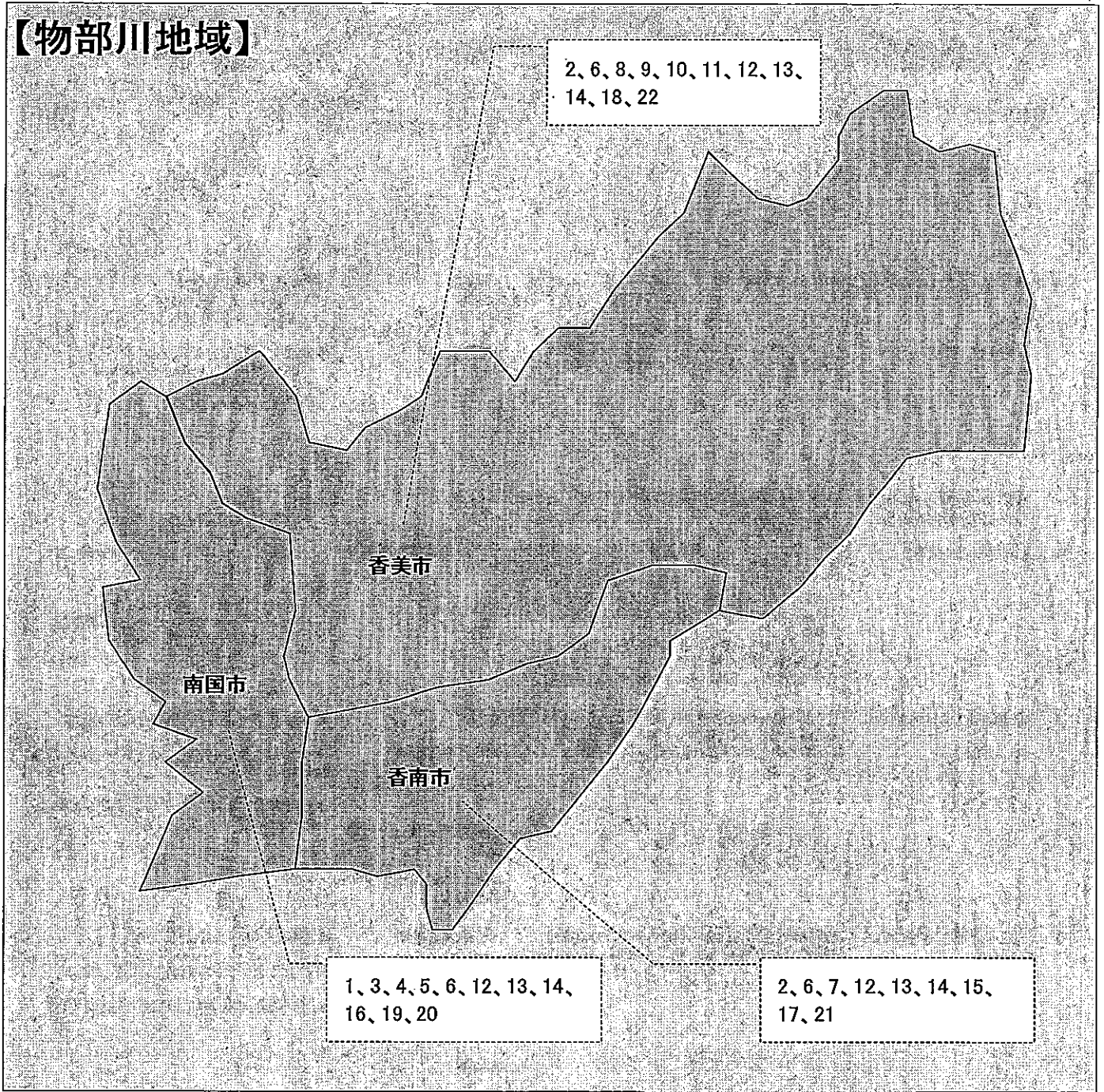
項 目	実 績	目 標
認定農業者数(主業農家に占める割合)	H19: 61.0%	H23: 65.5%
こうち型集落営農組織数	H19: 0組織	H23: 1組織
新規に商品化した加工食品数	H19: —	H23: 40品目
加工原料として漁協のシイラ販売額	H19: 一円	H23: 1,500万円
林業素材生産量	H18: 57,600 m ³	H23: 64,560 m ³
ペレット利用量	H19: —	H23: 1,230t
圏内主要施設訪問者数 ※県調査	H19: 67万人	H23: 85万人

本
仮
定

(5) 具体的な取組

No.	項目	南国市	香南市	香美市
1	南国市の園芸主幹品目の振興	●		
2	香南市・香美市の園芸主幹品目の振興		●	●
3	地産地消・食育の推進	●		
4	生産者と消費者をつなぐ場づくり ～まずは農家レストラン～	●		
5	地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～	●		
6	大学生による地域応援団(サポーター)づくり	●	●	●
7	農産物加工等への取組計画		●	
8	高齢農家とともに支える農業の仕組みづくりと集落の活性化			●
9	物部のユズを総合的に売り出す取組 ～ユズのトータルステーション(拠点)の構築～			●
10	香美市ブランドの確立・特産品づくり			●
11	作業者の確保 ～「雇いたい人」「働きたい人」のマッチング～			●
12	民有林における間伐の推進	●	●	●
13	木質バイオマスの活用に向けての取組	●	●	●
14	県産材の利用推進	●	●	●
15	シイラの加工商材活用		●	
16	「ごめん」をブランド化 ～トライアングルゾーンの活性化～	●		
17	香南市コミュニティガイド事業		●	
18	地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●
19	観光交流のネットワークづくり(観光推進体制の確立強化)	●		
20	歴史的資源を活用した地域活性化への取組 ～土佐のまほろば～	●		
21	体験観光型メニューの滞在型旅行商品化アクションプラン		●	
22	観光交流の受け皿づくり			●

【物部川地域】



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	主な内容
1 南国市の園芸主幹品目の振興 《南国市》	コスト上昇分をいかにカバーして、農家の維持、農業所得の向上や産地維持を図っていくか、南国市地域園芸戦略推進会議を核として、品目毎の生産・流通・販売上の課題解決に取り組む。	・南国市 ・JA南国市 ・JA長岡 ・JA十市 ・県(中央東農業振興センター)	◆生産上の対策 ◆流通・販売上の対策
2-1 香南市・香美市の基幹園芸品目の販売力向上対策 《香南市、香美市》	香美市・香南市には、エメラルドメロンや山北ミカン、〇物ユズ、やっこネゴなど高知県を代表するような園芸品目がある。こうした品目について、生産体制の強化とあわせて、ブランド化を含めた新たな販売戦略を構築し、県内外の市場における知名度と販売力の向上を図る。	・香南市 ・香美市 ・JA土佐香美 ・県(中央東農業振興センター)	◆生産性強化の対策 ・新技術の積極的な導入 ・環境保全型農業技術の導入 ◆知名度・販売力の向上対策 ・商品規格やパッケージの改善 ・新たな市場の開拓 ・ブランド化への支援
2-2 香南市・香美市の基幹園芸品目の産地力強化 《香南市、香美市》	JA土佐香美管内の園芸品目は、県下最大の産地である二の他、ピーマン、大葉、キュウリなど様々な品目が産地を形成している。こうした状況の中で、農業所得の向上や産地の維持・拡大を図るためには、それぞれの品目で産地ぐるみでまとまりをもって、環境保全型農業技術や新技術の導入に取り組むとともに選果場の機能強化など、産地力の向上に向けた取り組みを総合的に進める。また、食の安全・安心への取り組みとあわせて、「人と環境に優しい園芸産地」としての土佐香美ブランドを構築し、市場での有利販売に取り組む。	・香南市 ・香美市 ・JA土佐香美 ・県(中央東農業振興センター)	◆生産上の対策 ・環境保全型農業技術の導入 ・降温資材や新品種の導入 ・木質ペレットボイラーやヒートポンプなど省エネ技術の導入 ◆流通・販売上の対策 ・トレスビリティシステムの導入 ・クロージャーやパーシャル包装など特色ある流通形態の検討
3 地産地消・食育の推進 《南国市》	これまで先進的な活動を行ってきたが、野菜の供給割合は5.5%に留まっており、地産地消のさらなる推進のため、組織の連携強化等を図っていく。	南国市 (株)道の駅南国 JA南国市・JA長岡・JA十市 南国市地産地消推進協議会 南国市地域雇用創出推進協議会	◆学校給食への食材供給体制の整備 ◆業務筋(中食・外食・病院等)への供給体制の整備 ◆地産地消(食育)フェア等による地域内外へのPR・広報
4 生産者と消費者をつなぐ場づくり ～まずは農家レストラン～ 《南国市》	地産地消、安全安心への関心の高まりを背景に、地域の豊富な食材を活かし、生産者と消費者をつなぐ仕組みとして「農家レストラン」を立ち上げ、農業、商工業、観光の活性化を図る。	(株)道の駅南国 農業者を中心とする女性グループ等 JA南国市・JA長岡・JA十市 南国市	◆農家レストランの立ち上げ ◆農家レストランを中心とした農業振興 ◆農業振興のための総合的な拠点づくり

H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
				指標	目標値(H23)	
生産上の対策 流通・販売上の対策 地域園芸戦略会議で品 目別総合戦略の策定				シントウ販売額 (H19 13.4億円) ニラ販売額 (H19 3.9億円) オクラ販売額 (H19 1.8億円)	13.4億円 4.0億円 1.8億円	A
地域園芸戦略会議で品 目別総合戦略の策定	生産上の対策(増収、高品質生産向上対策、コスト高騰対策、環境保全型農業の推 進)、流通・販売上の対策(南国ブランドのPR、有利販売につながる市場との連携)		※販売額はJAへの入金額			
生産上の対策 流通・販売上の対策 地域園芸戦略会議で品 目別総合戦略の策定	先行品目の選定と具 体的な取り組み方針の決 定 エメラルドメロンでの生産 対策及び販売戦略の構 築への支援			エメラルドメロン販売額 (H19 4.8億円) フルーツマト販売額 (H19 2.5億円) ネギ類販売額 (H19 17.1億円) ミカン販売額 (H19 23.1億円)	5.0億円 2.7億円 18.0億円 24.0億円	A
地域園芸戦略会議で品 目別総合戦略の策定	・生産上の対策(増収、高品質生産向上対策、生産 コスト低減技術、環境保全型農業の推進) ・流通、販売上の対策(ブランド力の強化、有利販売 につながる市場や量販店、実需者との連携)		※販売額はJAへの入金額			
生産上の対策 流通・販売上の対策 地域園芸戦略会議で品 目別総合戦略の策定				ニラ販売額 (H19 22.9億円) ナス類販売額 (H19 2.7億円) ピーマン販売額 (H19 2.3億円) トルコギキョウ販売額 (H19 1.7億円)	28.0億円 2.8億円 2.0億円 2.0億円	A
地域園芸戦略会議で品 目別総合戦略の策定	生産上の対策(増収、高品質生産向上対策、コスト高騰対策、環境保全型農業の推 進)、流通・販売上の対策(土佐香美ブランドのPR、有利販売につながる市場との連 携) ・防虫ネット、天敵等の導入促進 ・生産性向上対策の推進(新技術の導入、低コスト耐水性ハウスの導入) ・省エネ、低コスト生産技術の導入 ・選果場の機能強化 ・JA土佐香美版のトレサビリティシステムの構築		※販売額はJAへの入金額			
学校給食への食材供給体制の整備及び供給拡大				学校給食における地元野 菜の供給割合(H19年度金 額ベース 5.5%)	11%	B
			業務筋への供給(H21新 規)	8事業体		
地産地消(食育)フェア等による地域内外へのPR・広報						
農家レストランの立上げ 農家レストランを中心とした農業振興 農業振興のための総合的な拠点づくり 基本コンセプトの検討・確立、レストラン運営主体の決定				(南国市版)農家レストラン の立上げ 隣接直販店の売上額	1か所 5%アップ (H20年度比)	B
	レストラン運営開始、レ ストランを中心とした「消 費者と生産者をつなぐ仕 組み」や「地域の農産物 の消費拡大の仕組み」 の確立		農業振興のための総合 的な拠点づくりへの取組 (農業体験・研修・農業 観光等)			

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	主な内容
5 地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～ 《南国市》	農商工の連携を強化するとともに、農産物の新たな生産・地域内への供給体制を整備し、加工を通じた特産品づくりを促進する。	南国市地域雇用創出推進協議会 JA南国市・JA長岡・JA十市 南国市 なんこく空の駅推進協議会 (株)道の駅南国	◆加工・流通促進等のためのコーディネーター機能の整備 ◆アンテナショップの検討 ◆JA出資等による農業生産法人の設立 ◆農商工連携交流会の設立 ◆地域ブランドの確立
6 大学生による地域応援団 (サポーター)づくり 《物部川地域全域》	地域内に大学が立地することから、在学中に地域資源(農産品・地場産品)に親しみ、地域の良さを学んでもらい、卒業後も“第二の故郷”として全国各地から物部川地域をサポートする『地域応援団(サポーター)』になってもらえる仕組みをつくる。	・「地域応援団」支援組織 (今後、組織の立ち上げに向けて、関係者と協議)	◆在学中の関わりづくり ◆卒業後のフォローアップ ◆支援組織(ネットワーク)の形成
7 農産物加工等への取組 計画 《香南市》	ミカン等柑橘類、ニラ、芋、チャママ、ショウガ、はなゆ、ブルーベリー、ナス、どろめなど、地域特産の農産物等の加工を通じて付加価値を高め、地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。	・香南市地域雇用創造協議会 ・食品加工グループ	◆研究会の立上げ ◆地域ブランド商品の製造、流通・販売
8 高齢農家とともに支える 農業の仕組みづくりと集 落の活性化 《香美市》	谷相集落をモデル集落とし、高齢者とともに農業で生活できる地域づくりに取り組み、将来にわたって中山間地域の集落で生活できる「こうち型集落営農」の実現を目指す。	・県(中央東農業振興センター)	◆集落営農の推進 ◆農作業受委託の推進 ◆売れる米作りの推進と有利販売 ◆園芸品目の導入と普及推進 ◆交流活動の推進

H20	H21	H22	H23	指標及び目標		区分				
				指標	目標値(H23)					
<p>○農工商連携による食品加工への取り組みの基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通に載っていない商品及び人材の発掘、地域資源のデータベース化などによるコーディネート機能の確立 ・空弁コンクール等の実施による特産品づくりのきっかけづくり ・リキュール・濁酒特区申請による新商品づくり <p>○アンテナショップの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発した商品等を販売するアンテナショップについては、「空の駅」の実証実験も行いながら、「道の駅」の活用や中心市街地空き店舗の活用等を実証しながら検討していく。 <p>○JA出資型農業生産法人の機能検討及び設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(仮)農工商連携交流会の立ち上げ ○地域ブランド認証の仕組みの検討 				<p>地域産品を使用した加工食品の商品化(H21新規)</p> <p>20品目</p> <p>コーディネート機能を通じた流通開始事例(H21新規)</p> <p>10品目</p> <p>アンテナショップの立ち上げ</p> <p>1件</p> <p>JA出資型農業生産法人の設立</p> <p>1法人</p> <p>生産法人の中食・外食産業等への食材供給(H21新規)</p> <p>8事業体及び学校給食</p>	20品目	10品目	1件	1法人	B	
<p>在学中の関わりづくり</p> <p>学生のニーズや大学として取り組む場合の仕組み等について協議、モデル的な取組の実施</p> <p>在学中の取組内容の検討</p> <p>検討内容を踏まえた実践</p> <p>卒業後のフォローアップ</p> <p>情報発信の仕組みの構築</p> <p>情報発信(HP、季刊誌)、地域産品の販売ツールによるセールス、アドバイザーとしてのつながり等</p> <p>支援組織(ネットワーク)の形成</p> <p>関係者間での調整作業</p> <p>支援組織の立ち上げ</p> <p>支援組織による応援団のサポート</p>										B
<p>特産品研究会の立ち上げ</p> <p>香南市特産品研究会の立ち上げ、マーケティングリサーチ</p> <p>商品開発・販売等に関する企画書づくり、素材調達計画の検討、素材の集荷方法等の確認</p> <p>企画書に基づく試作品製造及びモニタリング販売</p> <p>商品化が決定した加工製品の製造及びカタログ販売の実施</p> <p>県内外への売出し戦略の検討</p> <p>香南市地域雇用創造協議会の雇用した地域求職者等の既存企業等への就職もしくは起業による事業継承</p> <p>地域ブランド商品の製造、流通・販売</p>				<p>開発加工製品サンプル数(H19ー)</p> <p>10品</p> <p>商品化製品数(H19ー)</p> <p>10品</p>	10品	10品			A	
<p>集落営農の推進</p> <p>農作業受委託の推進</p> <p>売れる米作りの推進と有利販売</p> <p>園芸品目の導入と普及推進</p> <p>交流活動の推進</p> <p>ビジョン策定、園芸品目の実証展示、集落営農組織の設立準備</p> <p>組織運営支援、園芸品目の導入</p> <p>園芸品目の生産・拡大</p> <p>園芸品目の定着と所得向上、「こうち型集落営農組織」への誘導</p>				<p>こうち型集落営農組織数(H19ー)</p> <p>1組織</p>	1組織				A	

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	主な内容
9 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策 《香美市》	香美市物部町を中心としたユズは、国内最大の青果出荷(玉出し)ユズの産地であるが、生産者の高齢化などから、生産の維持が困難になっている。このため農作業受委託などの仕組みづくりを通じて、作業者を確保し産地の維持発展を図る。 また、従来の関東、関西地区への市場出荷に加えて、関東以北などの新たな市場の開拓を行い、新たな需要の掘り起こしと選果場の機能強化による商品開発を行う。 近年、ユズ園での鳥獣害の発生が多くなっており、こうした対策を取り入れた新系統品種の実証ほを設置する。	・香美市 ・香美市雇用創造協議会(農作業受委託チーム) ・JA土佐香美 ・県(中央東農業振興センター)	◆ユズ産地の生産対策 ・雇用労働システム(モデル)づくり ・鳥獣害対策を取り入れた実証ほの設置 ◆集・出荷及び販売体制の強化 ・集・出荷場の機能強化 ・新たなパッケージ等商品開発の推進 ・新市場及び流通チャネルの開拓
10 香美市ブランドの確立・特産品づくり 《香美市》	香美市ブランドの確立、特産品づくりを行うことを通じて、働く場の確保と所得の向上を図る	・香美市地域雇用創造協議会 ・食品加工グループ	◆地域特産品の加工・販売の仕組みづくり ◆新たな加工食品の開発・販売 ◆シカ肉の活用に向けた取組
11 作業者の確保 ～「雇いたい人」「働きたい人」のマッチング～ 《香美市》	9に統合		
12 民有林における間伐の推進 《物部川地域全域》	効率的な施業の実現を図るとともに、林業事業者の経営基盤の整備や担い手の育成を図り、素材の増産等に取り組む。	・各森林組合 ・林業事業者等 ・異業種(建設業等)	◆森の工場の推進 ◆林業事業者の育成 ◆担い手の育成確保 ◆放置林の解消

H20	H21	H22	H23	指標及び目標		区分
				指標	目標値(H23)	
<p>生産上の対策 流通・販売上の対策</p> <p>地域園芸戦略会議で品目別総合戦略の策定 JA土佐香美柚子生産部会ユズ産地協議会でユズ産地構造改革計画の策定</p>	<p>・受託作業の実施に向けた体制整備 ・選果機の整備等、集出荷場の機能強化 ・モデル実証ほの整備</p> <p>・中央果実基金事業によるマーケティング等、市場の開拓</p>	<p>◆生産上の対策 ・受委託作業システムの構築 ・優良系統の生産振興 ・実証ほの運営</p> <p>◆流通・販売上の対策 ・新商品(新パッケージ)の開発</p>		<p>ユズ販売額 (H19 5.0億円)</p> <p>新たな商品開発 現状なし</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p>	<p>5.1億円</p> <p>2品目</p>	A
<p>地域特産品の加工・販売の仕組みづくり</p> <p>詳細について関係者での検討</p>		<p>地域ブランド商品の製造、流通・販売</p>		<p>開発加工製品サンプル数 (H19 -)</p> <p>商品化製品数 (H19 -)</p>	<p>10品</p> <p>10品</p>	A
	<p>新たな加工食品の開発・販売</p> <p>商品開発・販売等に関する企画書づくり</p> <p>企画書に基づく試作品製造及びモニタリング販売</p> <p>商品化が決定した加工製品の製造及び販売 県内外への売出し戦略の検討</p> <p>香美市地域雇用創造協議会の雇用した地域求職者等の既存企業等への就職もしくは起業による事業継承</p>					
	<p>シカ肉の活用に向けた取り組み</p> <p>加工用原料(シカ肉)の調達方法の検討及び試作品製造</p> <p>商品化が決定した加工製品の製造及び販売</p>					
<p>森の工場の推進 林業事業体の育成 担い手の育成確保</p>				<p>林業素材生産量 (H18 57,600㎡)</p>	<p>64,560㎡</p>	A
<p>森の工場及び森林施業計画の樹立、林業事業体の育成、担い手の確保</p>						



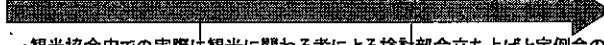


【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	主な内容
13 木質バイオマスの活用に向けた取組 (需用者開発) 《物部川地域全域》	「香南香美地域新エネルギービジョン」(香南市・香美市・物部及び香美森林組合・JA土佐香美・東京農大・高知工科大・高知大・民間企業等)に基き、上流域の豊富な森林資源と下流域に一大園芸地帯が広がる立地条件を生かし、林地残材を活用して熱効率に優れた半炭化ペレットを製造し、ペレットボイラーの燃料に利用することで、資源循環と森林資源の活用、代替エネルギーの確保による加温施設の安定経営を図る。	・香南市 ・香美市 ・南国市	◆将来の域内ペレット製造設備立地に向けた需用者の開発 ①各市が事業主体の農業用ボイラ設置(H21～23:グリーンニューデール事業) ②域内JAが行うペレットボイラ設置に向けた意向調査(H21) ③香南市(低炭素地域づくり面的対策推進事業)によるペレット実証実験(H21～) ↓ ◆実用ボイラ導入による運用状況・実証試験、農家の意向調査の結果が出そろったH23以降に製造設備の事業化を検討
14 県産材の利用推進 《物部川地域全域》	木の文化県構想の推進、循環型社会の実現、県産材の利用推進による需要拡大、地域産業の振興、森林の整備促進等の観点から、「高知県産材利用推進方針」を策定しており、これに沿って、県産材の利用推進、需要拡大を図る。	・県(中央東林業事務所) ・南国市 ・香南市 ・香美市	◆県産材利用促進方針に沿った取組の推進
15 シイラの加工商材活用 《香南市》	シイラの加工による浜値の向上と付加価値の増加を通じて、漁業者の所得の向上を図る	・高知県漁協(手結支所)	◆漁協による入札に参加 ◆前処理加工の実施 ◆施設整備の実施
16 「ごめん」をブランド化 ～トライアングルゾーンの活性化～ 《南国市》	「ごめん」というユニークな地名を活かし、人を呼び込み、商店街を活性化させる。	・(仮)ごめん活性化チーム ・ごめん町まちづくり委員会 ・ごめん生姜アメ研究会 ・南国市商工会 ・南国市 等	◆地域ブランドの検討 地域を巻き込んだ仕組みづくり ◆中核的な地域資源(商品・サービス)の検討による魅力度アップ 軽トラ市の定期開催等 ◆「にぎわい」拠点の検討

H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分	
				指標	目標値(H23)		
<p>木質バイオマスの利用の検討</p> <p>香南香美地域新エネルギービジョン詳細ビジョン策定調査による木質バイオマスの利用の検討</p>	<p>製造設備の設置に向けた具体的な需用者開発(グリーンニューディール事業)</p> <p>—ペレットボイラの設置—</p> <p>H21:1台、H22:27台、H23:13台 計41台(要望量)</p>			<p>ペレット利用量</p>	<p>1230t/年</p>	<p>A</p>	
<p>県産材利用促進方針に沿った取組の推進</p> <p>県有施設の原則木造化及び木質化、市町村や公益団体への要請、県産材利用の推進、県産材利用施設の周知及びPR活動、一般県民への周知・PR活動</p>				<p>(1)公共工事における木材の使用率 100%</p> <p>(2)工事用資材の木製品使用 100%</p>	<p>(1)公共工事における木材の使用率 100%</p> <p>(2)工事用資材の木製品使用 100%</p>	<p>A</p>	
<p>漁協による入札への参加 前処理加工の実施 施設整備の実施</p> <p>入札への参加、加工グループの組織化、施設の構造等についての協議、前処理加工品の販売</p>	<p>既存共同作業場の改修、前処理加工品の販売</p>	<p>機械導入によるフィレ加工の検討</p>		<p>加工原料として漁協のシイラ販売額(H19—)</p>	<p>1,500万円</p>	<p>A</p>	
<p>・(仮)ごめん活性化チームの立ち上げ</p> <p>・中核的な地域資源及びサービスの検討</p> <p>やなせたかしロード、生姜地蔵、ゴメンジャーなどの利用</p> <p>・サービスの検討と情報発信の方法の検討</p> <p>軽トラ市などの開催によるイメージ戦略</p>				<p>○「にぎわい」拠点の検討</p> <p>・中心市街地における空き店舗を活用し、物販機能・ハガキでごめんなさい作品常設展示・(仮)活性化チームの活動拠点等を検討</p>	<p>軽トラ市の定期的な開催</p>	<p>3回/年</p>	<p>B</p>
<p>・ごめん活性化チームの認証組織への移行</p> <p>・ごめんブランドの基準づくり(フィルターづくり)</p>							

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	主な内容
17 香南市コミュニティガイド事業 《香南市》	自衛隊移転に伴う新たな住民の一大流入を契機に、商店・飲食店・サービス店等において、地域に滞在するうえで欠かせない生活情報を提供することにより、大型量販店等との差別化を図り、活力のある商店街づくりを目指す。	・香南市商工会	◆勉強会の開催 ◆消費者への告知ツールの開発等 ◆参加型コミュニティイベントの開催
18 地場産業(土佐打刃物、フーフ)の振興 《香美市》	海外での展開も視野に入れた新商品の開発や販路の開拓のほか、昔ながらの技術や文化の継承を図るため、次世代を担う後継者の育成にも取り組む。	・未定	◆新商品の開発及び新たな販路開拓 ◆次世代を担う人材の育成
19 観光交流のネットワークづくり(観光推進体制の確立強化) 《南国市》	交通の要衝という恵まれた立地環境を活かし、地域内の観光資源をつなぎ、外に売り出していくための体制整備を図る。	・南国市地域雇用創出推進協議会 ・南国市観光協会 ・市内各観光に関わる者 ・市内各飲食店 ・(株)道の駅南国 ・なんこく空の駅推進協議会	◆地域内でのネットワークづくり ◆体験型観光などのメニューづくり ◆売り出していくための戦略づくり
20 歴史的資源を活用した地域活性化への取組～土佐のまほろば～ 《南国市》	地域が誇る歴史的な資源を活用し、「語り部」の育成などに取り組み、関係者が一つになって交流人口の拡大による地域活性化につなげていくために取り組んでいく。	・南国市地域雇用創出推進協議会 ・土佐のまほろば地区振興協議会 ・土佐のまほろば風景街道協議会 ・南国市観光協会	◆地域のコンセプトの再確認 ◆中核的な地域資源(仕組み・施設等)の検討 ◆観光ガイド組織の立ち上げ

H20	H21	H22	H23	指標及び目標		区分
				指標	目標値(H23)	
		 勉強会の開催 地域に根ざした個店ならではのサービスの検討		◆香南市商工会加盟店の増加		A
	消費者への告知ツールの開発等 マップ付き生活情報ガイド(冊子)の作成及び配布、シンボルマーク作成及びステッカー貼出し	マップ付き生活情報ガイドの普及・検証、ガイドと連携した地域通貨やクーポン等の導入検討	マップ付き生活情報ガイドの改訂版作成			
		 参加型コミュニティイベントの開催 観光協会等とタイアップした参加型コミュニティイベントの開催				
	新商品の開発及び新たな販路開拓 次世代を担う人材の育成 詳細について関係者での検討					C
		 ・観光協会内での実際は観光に関わる者による検討部会立ち上げと定例会の実施及び共同イベントの実施 ・まずシャモを使った新メニュー開発・提供を市内飲食店へ呼びかけることによるネットワーク拡大及び宣伝・広報 ・フリーペーパー(お店紹介)の作成、配布(情報発信)によるネットワーク拡大		観光ネットワークへの参加団体数(H21新規) 観光コーディネート組織の設立	50 1組織	B
		 ・1日観光コースづくり(農業体験含む)と実践及び道の駅と空港を活用した観光戦略づくり ・観光コーディネート機能を持つ組織の検討				
	・観光ガイドの養成 ・中核的サービスの検討 ・既存イベントの修正・実証・再構築による実施		 ・観光ガイドの実践活動 ・観光ガイド組織の立ち上げ	観光ガイド組織の設立	1	C

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	主な内容
<p>21 体験観光型メニューの滞在型旅行商品化アクションプラン 《香南市》</p>	<p>市内各地でいくつかの体験メニューの開発・実施が進みつつあるが、実施主体ごとに個別にPR等を行っている段階であるため、一元的に情報管理、発信を行うなど、観光商品化に向けて機能強化を図る。</p>	<p>・香南市地域雇用創造協議会 ・地域の体験メニュー等提供団体 ・香南市観光協会 ・高知県観光コンベンション協会</p>	<p>◆体験メニューのブラッシュアップ ◆旅行商品化に必要な観光情報の一元把握 ◆旅行商品企画の造成 ◆地域の観光情報の発信 ◆商店街のクレジットカードの利用環境の整備 ◆体験メニューの物語性を物販に活かすシステムづくり</p>
<p>22 観光交流の受け皿づくり 《香美市》</p>	<p>観光情報の一元化と観光ネットワークの強化を通じて、香美市を滞在型・体験型観光のフィールドとし、地域の所得の向上と雇用の創出を図る。</p>	<p>・香美市地域雇用創造協議会 ・香美市観光協会 ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 ・香美市 ・高知県観光コンベンション協会</p>	<p>◆観光情報の充実及び一元化 ◆観光ネットワークづくり</p>

H20	H21	H22	H23	指標及び目標		区分
				指標	目標値(H23)	
<p>体験メニューのブラッシュアップ</p> <p>成功事例等研修会</p> <p>まちの案内人講座ほか5講座の実施</p> <p>旅行商品化に必要な観光情報の一元把握</p> <p>メニューのタリフ化</p> <p>タリフ集・体験マップ作成</p> <p>タリフ集の修正・追加</p> <p>旅行商品企画の造成</p> <p>商品化検討会の立上げ</p> <p>検討会でのコースプラン作成、コンベンション協会を通じた販売</p> <p>地域の観光情報の発信</p> <p>香南市地域情報センター等を活用したPRの展開</p> <p>商店街のクレジットカードの利用環境の整備</p> <p>商工会による信販会社との一括契約による利用環境の検討</p> <p>カード識別端末の導入</p> <p>体験メニューの物語性を物販に活かすシステムづくり</p> <p>「買い物かご」事業の検討及び試験導入</p> <p>「買い物かご」事業の本格運用</p>				<p>商品造成数(日帰り、1泊2日、2泊3日×3ターゲット)</p> <p>年間プロモーション活動県外(主に東京・大阪)</p>	<p>10タイプ以上</p> <p>年間6回以上</p>	A
<p>観光情報の充実及び一元化</p> <p>観光ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光シーズの洗い出し ・観光情報のタリフ化 ・モニターツアーの実施によるニーズの把握と検証 ・ワーキングホリデー等の新たな取組の試行 ・ホームページの作成等、観光情報の発信強化 ・観光ネットワークづくり <p>・観光コーディネート等を行う組織の具体的検討</p>				<p>観光コーディネート等を行う組織</p>	1	B